


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成28年11月16日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第8号	質問議員	3番	井上 正文 
件名	山北町の減災対策について問う			
要 旨				
<p>2016年9月28日、南海トラフ巨大地震を想定した映像が、内閣府から発表された。</p> <p>最大震度7の激しい揺れのあと、わずか2分で大津波がやってくる。死者最大32万3千人（津波による被害者23万人）、倒壊および焼失棟数最大238万6千棟、東日本大震災の約1.7倍に相当する。30年以内に発生する確率は70%程度、50年以内に発生する確率は90%程度と予測されている。</p> <p>生き延びた人々にも、恐るべき苦難が待っている映像である。現在、南海トラフ巨大地震に対して、多くの自治体が想定外を予測し、減災対策に着手している。9割が山の山北町だからこそできる減災を、平時の今、取り組まなければならないと考え質問する。</p> <p>1. 昔から、薪炭で生活していた山北だからできる減災は、薪に目を向けるのが、ごく自然の考え方だと思う。復旧が長期になればなるほど薪の有難さがわかるはずだ。</p> <p>(1) 暖がとれ料理ができる、丸太を利用したスウェーデントーチやロケットストーブが、孤立を余儀なくされるであろう、山北町民を救うことになるのではないかと思う。山北町民のために目標を決め、ロケットストーブ各組に1台、スウェーデントーチ各組に100個いきわたるように取りくむ考えを伺う。</p> <p>(2) 都市部では、来年以降減災に取り組むことが予想される。電気、都市ガス、石油の代替えエネルギーになるスウェーデントーチやロケットストーブは、山北町以上に必要になる。そこで、現在山北町と交流</p>				

している、品川区や川崎市のために備蓄する考えを伺う。また、他地域で災害が発生したら支援物資として送ってはどうか。

(3) 最近の災害で、避難所生活で、プライバシー保護で困っている人がたくさんいることが解った。町が準備する予定の避難所・救護所の開設の他に、山北町各連合自治会に板の ついたて や6帖くらいの丸太小屋キット2棟程度を準備する考えがあるか伺う。

(4) 他地区で災害が発生したら、山北町が(3)の救援物資として運搬する考えは(平成16年中越地震では山北町森林組合が4棟運搬した)

2. 阪神大震災や東日本大震災では、地震発生直後の火災のほか、停電復旧後に壊れた電気器具などから出火する「通電火災」が相次いだ。火事の原因の6割以上が電気によるものとされている。感震ブレーカー(無料配布の自治体あり)の設置が急がれているが、町の考えは。

3. 熊本地震では、ドローンで命を救う取り組みを試みた団体があった。成果は今後に待たれるが、近い将来100kgの物を運べる研究がされている。山間部に人家が点在する山北町では、最適の機器になると思われるが、導入の考えは。